



四六判  
文豪が愛した文豪  
真山知幸著  
ISBN4-8013-0638-7  
税込1430円

大切な人への熱すぎる思い

あこがれ、友情、愛憎...

「新聞は」崇拜、と表現 芥川龍之介に対する大宰治の強烈な愛」「夏目漱石を絶対視 だけど旅先に押しかけ借金を頼む内田百閒」「恋も文学も我が道を行く 森? 外と永井荷風の交流と意外な共通点」「酒・喧嘩・宮沢賢治を好きすぎて意気投合 中原中也と草野心平」本書はこうした、文豪同士の「愛」にフォーカスした書籍です。「あこがれ」「友情」「愛憎」という三つの切り口に基づいて、「文豪による文豪へ...



四六判  
お金で読み解く地政学  
大村 大次郎著  
ISBN4-8013-0631-8  
税込1540円

お金と地理で世界の動きを解明!

中国が台湾を手放せない経済的理由とは?

「中国が台湾を絶対手放せない経済的理由とは?」「世界の石油市場を操作するロシアの外交戦略」「タックスヘイブンを使いこなす北朝鮮の闇経済」 複雑化する世界情勢を「お金」と「地理」から考察する、おとなのエンタメ教養本が誕生! 地政学に「お金の流れ」を加えれば、世界の動きがよくわかる。...



文庫判  
大本営から読み解く太平洋戦争  
橋本拓弥 著  
ISBN4-8013-0428-4  
税込730円

謎に包まれた大本営を知れば戦争の真の姿が見えてくる!

大本営 戦時に設置される最高統帥機関

戦後、多くの歴史家や識者が太平洋戦争を論じ、原因・敗因・責任などについて考えてきた。数え切れないほど膨大な文献や論文などで論じられてきたが、それは今なお進行形であり、答えらしい答えは出ていない。太平洋戦争を論じる上で、大きな指針となる組織が存在する。それが「大本営」である。大本営という組織を要約すると、「戦時または事変における軍の最高統帥機関」ということになる。しかし、この大本...



四六判  
明暗分かれる鉄道ビジネス  
佐藤 充 著  
ISBN4-8013-0405-5  
税込1320円

JR各社と大手私鉄の事業を徹底的に研究

なぜ一部の鉄道会社だけが利益を上げているのか?

JR東日本の鉄道を利用する人は1日あたり1700万人以上で、同社の鉄道運輸収入は年間1兆8567億円(2018年度)にもなる。東海道新幹線は東京~新大阪の運賃が1万円を超えるが、1年間の輸送人員は1億7000万人で、しかも乗務員は少人数体制だ。効率良く利益が上がり、JR東海の営業利益は6000億円を超える。まさに、「金のなる木」である。沿線に住民がいる限り、あるいは東京~大阪を...



四六判  
ロボットとシンギュラリティ  
木野 仁 著  
ISBN4-8013-0397-3  
税込1430円

AI搭載のロボットは人間の敵か? 味方か?

AI時代到来の前に知りたい最新ロボット技術と未来像

私の専門はロボット工学であり、日々、大学教育や学会活動の傍らでロボットの研究に動いている。そう伝えると多くの人が投げかけてくるのが、次のような質問だ。「人工知能が発達すれば、人工知能を持ったロボットが人類を襲ってくるのではないか?」「10年後には人間の仕事がロボットに奪われ、みんな失業するのではないか?」こうした質問をされると、多くの場合は悲観的な口調だ。しかし、私はもう少...



四六判  
元陸上自衛隊陸将補が書いた リアリズム国防論  
河井 繁樹著  
ISBN4-8013-0319-5  
税込1320円

自衛隊はどう国を守るのか?

元幹部自衛官が語るリアルな国防の姿!

激動する東アジア情勢、日本国内では自衛隊に関する議論が高まっている。平和安全法制の制定、憲法改正の是非、海外平和協力活動の在り方など、その論点は多岐にわたる。これからの自衛隊はどこに向かうのか。国を守るということは、どうということなのか。北の最前線基地で奮闘した冷戦期の記憶、個を鍛え上げるための厳しいレンジャー教育、部隊能力を向上させる厳しい訓練、日米合同訓練の実態、国際平和協力...



四六判  
韓国人が書いた 韓国の大統領はなぜ悲劇的な末路をたどるのか?  
?成京 著  
ISBN4-8013-0313-3  
税込1540円

韓国在住の著者が解き明かす

暗殺、自殺、逮捕、亡命... 悲劇の原因は何なのか?

韓国の大統領は、任期中・任期後を問わず暗殺、自殺、亡命、本人や親族の逮捕など、悲劇的な末路をたどることが多い。経済発展を続けているはずの韓国が、なぜこのような状況にあるのか、背景にはどのような問題があるのか?韓国に在住する韓国人著者だからこそ分かる国内事情もまじえ、政治や経済、国際事情を鋭く分析する。...



四六判  
韓国人が書いた 韓国で行われている「反日教育」の実態  
崔 碩榮 著  
ISBN4-8013-0040-8  
税込1430円

「反日韓国人」はこうして作られる!

国ぐるみで行っている反日教育を徹底解剖!

反日デモや激しい抗議などを見る限り、韓国ではほど過激な「反日教育」が行われているように思えるが、実際に韓国の学校で教育を受けてきた著者は「直接的に反日感情を高めるような授業は記憶にない」と語る。しかし、それは「反日教育が行われていない」ということでは決してない。あえて反日感情をあおるような手法をとっていないだけで、積極的かつ巧妙に子どもたちに日本に対する負のイメージを高めるよ...



四六判  
サムスンに学ぶな!  
伊敷豊 著  
ISBN4-8013-0000-2  
税込1320円

今でも、日本のモノづくりは世界一である

本当は勝っていた薄型テレビ・スマホ

日本の家電メーカーは、なぜ、凋落したのか?その答えは、いち早く回復したパナソニックと、未だに混迷の続くソニーの現状にあった!国内家電メーカー凋落の原因は、経営者のグローバル・スタンダード病にあった!金儲けが目的のグローバル・スタンダード経営は、「有能な経営者」でなければ成功しない!金儲けより先に、顧客、社員、社会のことを考える日本流経営こそ、日本企業繁栄の礎である。...



四六判  
 言いがかり国家「韓国」を黙らせる本  
 宮越秀雄 著  
 ISBN4-88392-972-6  
 税込1320円

無茶苦茶な韓国の批判にはこうして反証すればいい

韓国、いい加減にしろ！

2013年2月に発足した朴槿恵政権は「反日」強硬姿勢を強めたまま、現在に至っている。政権発足から約1年が経過したにもかかわらず、日韓の首相が会談を行っていないのは異常とも言える事態である。その背景には、エスカレートする韓国の日本批判があることは言うまでもない。「従軍慰安婦問題」「靖国神社問題」「竹島問題」「旭日旗問題」など、日韓の間には複雑な問題が横たわっている。その多くは韓国...



四六判  
 日本経済が頂点に立つ  
 これだけの理由  
 山本博一著  
 ISBN4-88392-942-9  
 税込1572円

成長こそがすべての解

長いデフレ不況を抜け出した時、日本は必ず頂点に立てる

「政府財政の悪化」「デフレ不況」「少子化、晩婚化」「格差拡大」「賃金の低下、雇用状況の悪化」「年金、社会保障不安」「産業空洞化」日本が抱えているこれらの問題は、すべて「経済が成長していない」ことが原因だ。日本経済が成長しさえすれば、日本の抱えている問題のほとんどが解決してしまう。22年連続で世界一の債権国であり、どこよりも優れた生産供給能力を持ち、そして、世界最大のデフレギャツ...



四六判  
 韓国人が書いた「反日国家」である本当の理由  
 崔 碩栄 著  
 ISBN4-88392-888-0  
 税込1430円

韓国人はなぜ、あれほど過剰に反応するのか？

韓国人の著者が解き明かす、韓国の「反日システム」のすべて

日本に10年間に住した経験のある韓国人著者が書いた「韓国を支配する反日システム」の全て。2012年8月10日、韓国の李明博大統領が竹島を電撃訪問した。その後、オリンピックサッカー試合会場において韓国人選手が「独島は我が領土」と記したプレートを掲げたり、李明博が天皇に謝罪を要求するなど、韓国側の異様とも言える言動は続いた。竹島問題、旭日旗問題、日本海 東海呼称問題、慰安婦問題など...